

Office 10 パッケージ版 画面の操作／個人設定

バージョン 10.0.2

ログイン

サイボウズ Officeにログインする方法や、ログアウトする方法を説明します。

ログインする

サイボウズ Officeにログインします。

ログイン名やパスワードが分からない場合は、システム管理者に確認してください。

1. Webブラウザを起動し、サイボウズ OfficeのアクセスURLにアクセスします。

アクセスするURLは、お客様の環境によって異なります。

■ サイボウズ OfficeのアクセスURL

サーバーのIPアドレスまたはホスト名、インストール識別子は、システム管理者に確認してください。

「cbag」の部分はインストール識別子です。

環境	アクセスURL
Windows環境	http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/scripts/cbag/ag.exe
	または http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbag/ag.exe
Linux環境	http://(サーバーのIPアドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbag/ag.cgi

2. 必要な項目を設定し、**ログイン** をクリックします。

ログイン名やパスワードは、大文字と小文字を区別し、正し入力してください。

ログインに成功すると、ヘッダーにログイン名が表示されます。ログイン方法は、システム設定により異なります。



- 製品のアクセスURLはブックマークやお気に入りに登録しておくとう便利です。
- システム設定でパスワードの有効期限が設定されている場合、有効期限が近づくと、ログイン時に「パスワードの変更」画面や「パスワードの有効期限の通知」画面が表示されます。

■ 名前を選ぶログイン方法

ドロップダウンリストから名前を選択し、パスワードを入力します。

■ 組織と名前を選択するログイン方法

ドロップダウンリストから名前を選択し、パスワードを入力します。

組織を切り替えるには、**切り替える** をクリックし、表示する組織を選択します。

■ ログイン名を入力するログイン方法

ログイン名を入力し、パスワードを入力します。

ログインに失敗する場合は

ログインに失敗する場合は、次の原因が考えられます。

■ ログイン名やパスワードが間違っている

ログイン名やパスワードは、大文字と小文字を区別し、正しく入力する必要があります。
正しいログイン名やパスワードが不明な場合は、システム管理者に確認してください。

■ お使いのWebブラウザでCookieの設定を無効にしている

お使いのWebブラウザでCookie の設定を無効にしていると、エラーメッセージが表示され、ログインできません。
ログインする前に、Cookieの設定を有効にしてください。

次のWebブラウザをお使いの場合は、Cookieの設定手順をマニュアルで案内しています。

	Windows環境	Macintosh環境
Internet Explorer	詳細はこちら	—
Mozilla Firefox	詳細はこちら	詳細はこちら
Google Chrome	詳細はこちら	—
Safari	—	詳細はこちら

個人設定画面にアクセスする

個人設定画面を表示します。

個人設定画面に表示される項目は、システム管理者の設定やライセンス状況により異なります。

1. ヘッダーの右側の[ユーザー名] > [個人設定]の順にクリックします。



2. 個人設定のタブを選択し、目的のメニューを選択します。



■ 個人設定のタブ

環境	アクセスURL
基本設定	ユーザーが利用するにあたり、最低限必要な設定項目が表示されます。 ● ユーザーのパスワード ● 画面のデザイン ● メールアカウント メール機能が有効な場合に表示されます。
詳細設定	個人設定で設定可能なすべてのメニューが表示されます。 個人情報、カスタマイズ、各アプリケーションの3つのセクションに分かれて表示されます。

ログアウトする

サイボウズ Officeからログアウトします。

1. ヘッダーで、[ユーザー名] > [ログアウト]の順にクリックします。



基本的な操作

サイボウズ Officeにログインすると、トップページが表示されます。

トップページには、各アプリケーションへのメニューや、利用ユーザーへの連絡欄、普段よく使うアプリケーションのパーツなどが表示されます。



アプリケーションパーツが配置されている部分。
表示するパーツは各ユーザーで設定できます。

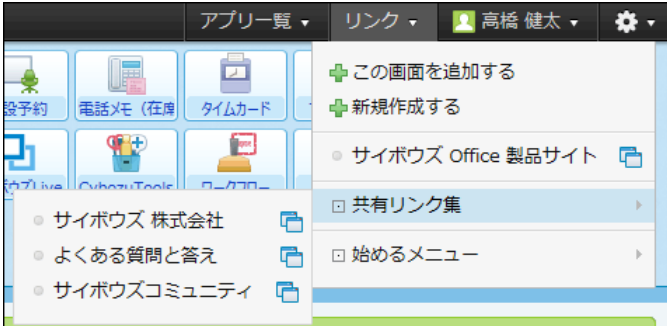
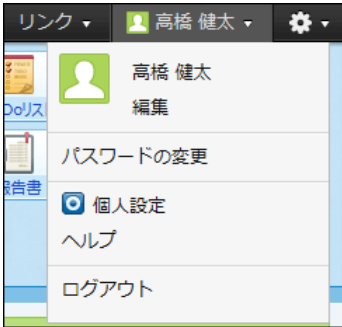
ヘッダーの見かた

サイボウズ Officeにアクセスしている場合に表示されるヘッダーの見かたを説明します。

システム管理者でログインしている場合は、管理者用メニューを表示する、歯車アイコンが表示されます。

例：システム管理者でログインしている場合

番号	説明
1	ロゴです。システム管理者側で任意のロゴを設定できます。 会社情報を設定する
2	
3	
4	
5	
6	

2	キーワードを入力し、🔍をクリックすると、製品内のデータから検索します。
3	アプリケーションメニューをドロップダウンリストで表示します。 画面をスクロールした際に、アプリケーションメニュー部分が見えなくなっても、 アプリ一覧 を利用すれば、目的のアプリケーションに移動できます。 
4	個人リンク集や共有リンク集、始めるメニューが表示されます。 画面をスクロールした際に、アプリケーションメニュー部分が見えなくなっても、少ないクリック数でデータの登録やページ遷移ができるため便利です。 
5	個人情報の編集画面やパスワードの変更、個人設定へのリンクが表示されます。 管理者の設定によって、表示されないメニューがあります。  メニューの操作は、次のページを参照してください。 - ユーザー名 ユーザー名簿： ユーザー情報を変更する - 編集 個人設定の変更： ユーザー情報を変更する - パスワードの変更 個人設定の変更： パスワードを変更する
6	システム管理者のみに表示されます。 システム設定画面や問い合わせへのリンクが表示されます。



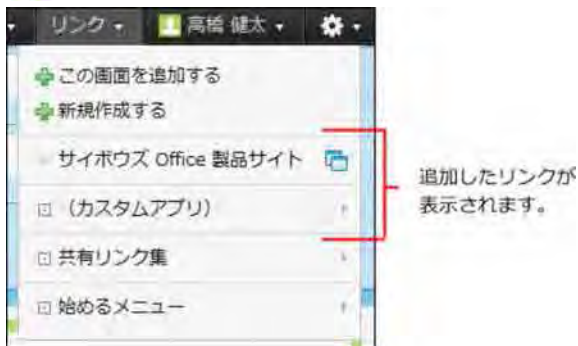
ヘッダーのリンクメニューの見かた

ヘッダーの リンク▼ の使い方を説明します。



個人リンク部分

 **リンク集** にアクセスせずに、現在閲覧している画面から、任意のWebページをリンク集に追加できます。



追加したリンクは、カテゴリ分けされているかどうかで表示が異なります。

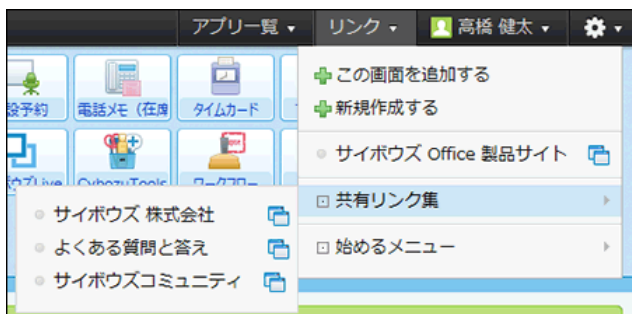
- **カテゴリ分けされていない(=未分類) :**
「 リンク名」で表示されます。
- **カテゴリ分けされている :**
「 」付でカテゴリ名が表示されます。
ただし、「 (アプリケーション名)」は、ヘッダーの「 この画面を追加する」から追加したリンクである場合のみ表示されます。

ヘッダーからリンクを追加する操作は、次のページを参照してください。

 リンク集 : [ヘッダーから追加する](#)

共有リンク部分

マウスオーバーすると、システム管理者が設定している共有リンクが表示されます。

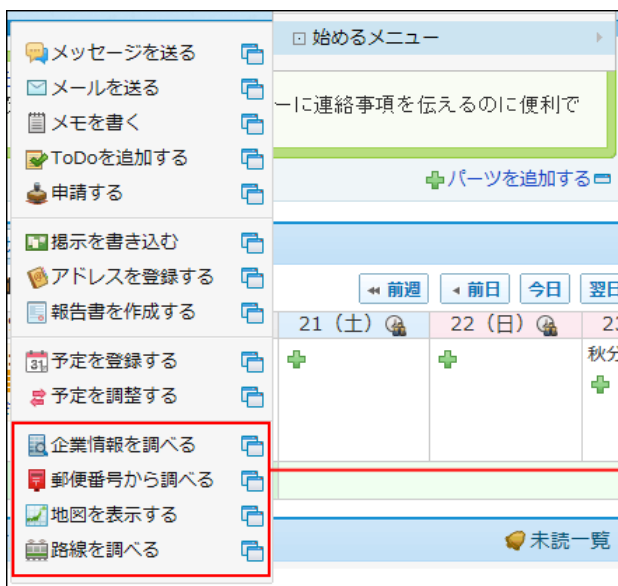


ユーザーは、共有リンク集の中身を変更や削除できません。
ただし、共有リンク集を画面に表示するかどうかは、個人設定で設定できます。

[リンク集：共有リンクの表示を有効にする](#)

始めるメニュー部分

始めるメニューは、予定の登録や掲示の書き込みなど、よく使うアプリケーションでのスタートアクションをまとめたメニューです。マウスオーバーすると表示されます。



ネット連携サービスが有効な場合に利用できます。

システム管理者の設定やライセンス状況により表示されない項目もあります。
また、表示するメニューは個人設定で変更できます。

[始めるメニューを設定する](#)

[企業情報を調べる](#)などのネット連携サービスを利用するメニューの操作の詳細は、次のページを参照してください。

[ネット連携サービスを使ってみよう](#)

アプリケーションメニューとは？

画面上部に表示されている各アプリケーションへのリンクメニュー全体のことをアプリケーションメニューと呼びます。
リンクをクリックすると、各アプリケーションの画面に遷移します。



システム管理者によって初期メニューが設定されているため、ユーザーは、初期メニューに上書きする形で、使いやすいアプリケーションメニューにカスタマイズできます。

■ システム管理者が設定するメニュー

上記の表のパーツ **1** の部分です。
詳細は次のページを参照してください。

[アプリケーションメニューを設定する](#)

■ ユーザーが設定するメニュー

上記の表のパーツ **2** と **3** の部分です。
詳細は次のページを参照してください。

[アプリケーションメニューをカスタマイズする](#)

画面を最新の情報に更新する

画面に表示されるデータは、自動更新されません。
時間の経過とともに最新のデータを表示させるには、手動で画面を更新する必要があります。

■ 現在表示している画面を更新する場合

キーボードの「F5」を押します。

■ トップページを更新する場合

アプリケーションメニューの  [トップページ](#) をクリックします。

ユーザーを選択する

メッセージの宛先や予定の参加者を設定する際の、ユーザーの選択方法を説明します。

1. 右側の検索やドロップダウンリストを使って選択候補を表示します。



● 検索する場合：

検索ボックスにキーワードを入力し、 [ユーザー検索](#) をクリックします。
ユーザー情報に登録されている、名前、よみ、E-mailを対象に検索します。

● ドロップダウンリストから選択する場合：

ドロップダウンリストで選択した組織やMyグループに所属するユーザーが選択肢に表示されます。
ドロップダウンリストに表示されるメニューは、アプリケーションにより異なります。
メニュー例：

ドロップダウンリストのメニュー	説明
(全員)	サイボウズ Officeの全ユーザーが表示されます。
(全施設)	サイボウズ Officeに登録済の施設が表示されます。
(組織一覧)	サイボウズ Officeに設定している組織が表示されます。

2. 目的のユーザーを選択し、 または をクリックします。

削除する際は、左側欄で削除するユーザーを選択し、 をクリックします。

3. 必要に応じて、ユーザーの表示順を変更します。

- : 選択しているユーザーを1つ上の位置に移動します。
- : 選択しているユーザーを1つ下の位置に移動します。

操作する画面によっては、表示順を変更できません。

この場合、表示順は候補を追加した順になります。表示順を変更するには、候補をすべて削除し、候補の選択をやり直します。

表示順を変更する

メッセージの宛先や予定の参加者の表示順の変更方法を説明します。



1. 登録画面または変更画面で、候補の設定欄を表示します。
2. 順番を変更する候補を選択し、順番変更のアイコンをクリックして並びを変更します。

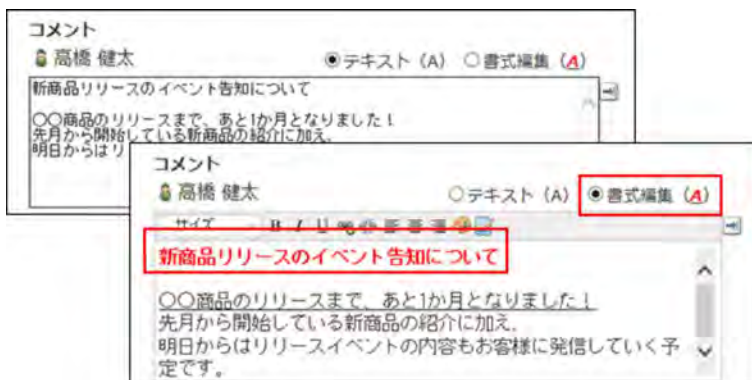
■ 順番変更のアイコン

ドロップダウンリストのメニュー	説明
↑	選択する項目を一番上の位置に移動します。
▲	選択する項目を1つ上の位置に移動します。
▼	選択する項目を1つ下の位置に移動します。
↓	選択する項目を一番下の位置に移動します。

書式編集を使う

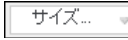
書式編集の操作を説明します。

システム管理者の設定により機能が利用できない場合は、「書式編集(A)」は表示されません。



1. テキスト入力欄で「書式編集(A)」を選択します。
2. 利用する書式編集機能をクリックして、テキストを入力します。

■ 利用できる書式

機能	説明
	文字のフォントサイズを変更します。
	文字を太字に変更します。
	文字を斜体文字に変更します。
	文字にアンダーラインを追加します。
	文字にハイパーリンクを設定します。 クリックすると、設定画面が表示され、リンクの表示方法とURLを設定できます。
	ハイパーリンクを削除します。
	選択している行を左揃え、中央揃え、または右揃えにします。
	文字の色を変更します。
	文字の背景色を変更します。

■ 書式編集を解除する

「書式編集(A)」横の「テキスト(A)」を選択すると、設定した書式がすべて解除されます。解除された書式は元に戻せません。

ファイルを添付する

ファイルの添付方法には、1つずつ添付する方法と、複数のファイルを一括で添付する方法があります。
ただし、ファイルの一括添付は、利用できる環境に制限があります。

1つずつ添付する

主にコメント欄で利用します。

1. ファイルセクションで、 をクリックします。

ファイル

参照...

削除

2. 画面の表示にしたがって、ファイルを選択します。

一括添付機能を利用するには

ファイルの一括添付は、次のアプリケーションと環境の下で利用できます。

■ 一括添付を利用できるアプリケーション

次のアプリケーションのみ利用できます。

- 掲示の本文
- メッセージの本文
- メール

- メモ

また、画面上でも一括添付が利用可能かどうかを確認できます。
次の表示がないファイルセクションでは、一括添付は利用できません。



■ 一括添付を利用できる環境

お使いのWebブラウザが、複数ファイルの添付に必要な機能をサポートしている場合に利用できます。
現在、この機能の動作確認が取れているWebブラウザは次のとおりです。(2014年2月現在)

- Chrome最新版(Windows/Macintosh)
- Firefox最新版(Windows/Macintosh)
- Internet Explorer 10/11

複数のファイルを一括添付する

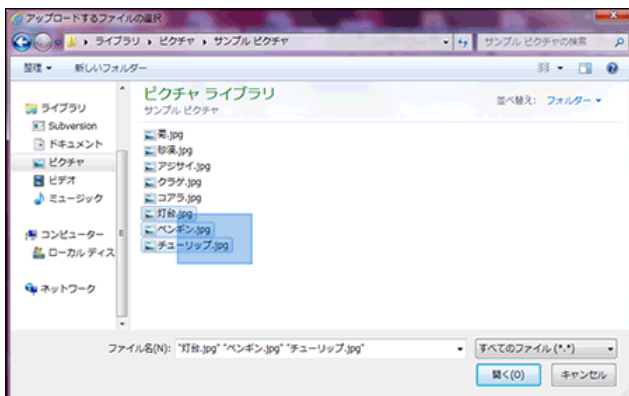
ファイルの選択画面を表示して選択する方法と、ドラッグアンドドロップでファイルを選択する方法があります。



- 添付ファイルは、添付した順番に表示されます。表示順を変更する場合は、添付ファイルを削除し、操作をやり直す必要があります。

■ ファイル選択パーツを利用する場合

1. ファイルセクションで、**参照…** をクリックします。
2. 添付するファイルを範囲選択します。



■ ドラッグアンドドロップ機能を利用する場合

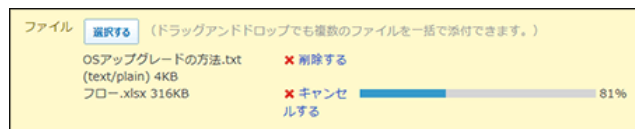
1. 個人設定で、ドラッグアンドドロップでのファイル添付を許可します。
[ファイルの添付方法を設定する](#)
2. ファイルセクションに、添付するファイルをドラッグアンドドロップします。



ファイルのアップロード中に添付を中止する場合は、**✕ キャンセルする** をクリックします。
添付したファイルを削除する場合は、**✕ 削除する** をクリックします。

■ 添付の中止やファイルを削除する場合

ファイルのアップロード中に添付を中止する場合は、**✕ キャンセルする** をクリックします。
添付したファイルを削除する場合は、**✕ 削除する** をクリックします。

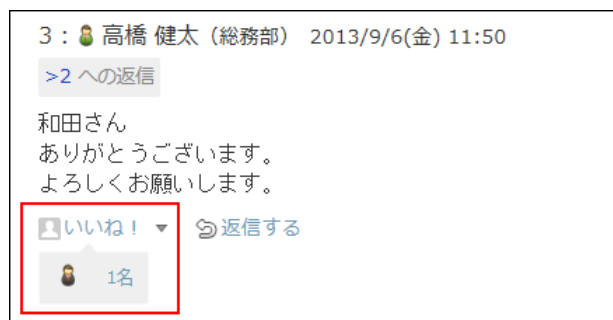


リアクション機能の使い方

ここでは、機能の設定方法から、リアクション時の通知の仕様まで、リアクション機能の操作方法を説明します。

リアクション機能とは？

リアクション機能は、あなたが目にした情報やコメントに対し、意思表示できる機能です。
コメントを書き込まなくても、共感や確認しました、という意思を表現できます。



■ リアクション機能を利用できるアプリケーションと設定方法

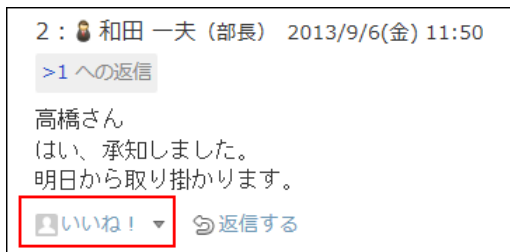
リアクション機能は、各アプリケーションで有効・無効を設定する必要があります。
設定するリアクションのリンクも、掲示やメッセージなどデータごとに設定できます。

アプリケーション	利用できる箇所	設定方法
掲示板	掲示の本文 コメント欄	掲示の作成時に設定します。 📄 掲示を作成する
メッセージ	メッセージの本文 コメント欄	メッセージの作成時に設定します。 📄 メッセージを送る
報告書	報告内容 コメント欄	報告書の作成時に設定します。 📄 報告書を作成する
プロジェクト	掲示の本文 コメント欄	掲示の作成時に設定します。 📄 掲示を追加する
カスタムアプリ	レコードのコメント欄	アプリの運用管理で設定します。 📄 リアクション機能を有効にする

リアクションする

リアクション機能が有効な場合、データの本文やコメントに対して「いいね！」や「確認しました」などの意思表示が可能です。

1. 各アプリケーションのデータの詳細画面を表示します。
2. データの本文、または任意のコメントで、 **リアクションのリンク** をクリックします。



■ リアクションを取り消す

自分のリアクションのみ取り消せます。 **「リアクションのリンク」取り消す** をクリックします。



■ リアクションのアイコンを変更する

 **リアクションのリンク** 横の▼をクリックすると、リアクションする際のアイコンを選択できます。リアクションした後も、アイコンは変更できます。



リアクション機能の有効、無効の切り替えについて

データの登録時にリアクション機能を有効にしている場合のみ、各データの変更画面や設定画面で機能を無効に変更できます。操作方法は各アプリケーションで異なります。

■ リアクション機能の切り替えの可否

機能の切り替え	挙動	
無効→有効	×	データの登録時に機能を無効にすると、途中で有効に変更できません。
有効→無効	○	有効にしていた機能を途中で無効に変更できます。 この場合、リアクション結果やリアクションのリンクは削除されません。 非表示扱いになり、ユーザーからは閲覧できないようになります。
有効→無効→有効	○	一時無効にしていた機能を再度有効に変更できます。 この場合、無効時に非表示にされていた、リアクションのリンクとリアクション結果が再度表示されます。

リアクションの表示順

本文やコメントにつけられたリアクションは、日時順に、最新の10件を確認できます。11件目以降のリアクションは表示されません。
リアクションの合計数は、リアクションの表示欄の右端に  **名** と表示されます。

ログインユーザーがつけた「いいね！」は一番左下に表示されます。



新しい ← → 古い

リアクションしたユーザーを確認する場合は、リアクションの表示欄の右端にある **○名** をクリックします。

システム管理者によって削除されているユーザーは、「(削除されたユーザー)」と表示されます。名前は表示されません。

ログインユーザーがつけた「いいね！」は、最上部に表示されます。



リアクションの通知について

リアクション機能が有効な場合、ユーザーがリアクションすると、リアクションされたデータを書き込んだユーザー宛てに通知が送信されます。

● 通知の対象：

- データの本文に対するリアクション場合：データの作成者に通知されます。
- コメントに対するリアクションの場合：コメントの投稿者に通知されます。

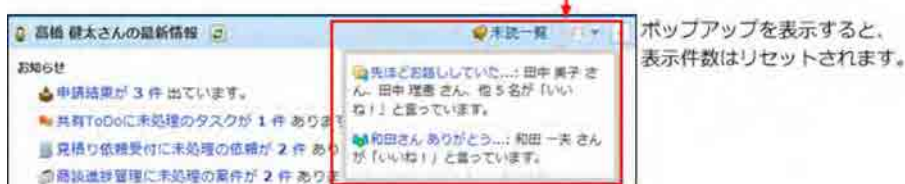
● 通知される操作：

- **リアクションのリンク** をクリックしたとき
- リアクションを取り消しているデータで、再度 **リアクションのリンク** をクリックしたとき
リアクションのアイコンを変更する場合は通知されません。

● 通知内容：

トップページの最新情報パーツに通知が表示されます。通知履歴には表示されません。

数字は、リアクションされたデータの件数です。



リアクションのリンク名は、データの作成者が途中で変更できます。変更のタイミングによっては、変更後のリンク名が通知に反映されない場合があります。

- ます。

リンク名の変更後にユーザーがリアクションすると、変更前にリアクション済の通知内容にも、変更後のリンク名が反映されます。

- **通知件数：**

- トップページにはデータ単位で通知されるため、1つのデータに対し複数のユーザーがリアクションしても、通知されるのは1件だけです。
- 100件を超える通知がある場合、通知から24時間を経過すると、101件目以前の古い通知が削除されます。
- データに対するリアクションを全ユーザーが取り消し、リアクションが0になると、該当のデータのリアクション通知がトップページから削除されます。
ただし、リアクションするユーザーが1人でも残っている場合、リアクションを取り消したユーザーを通知で確認できます。
- 表示する通知件数は、「最新情報パーツ」の設定で変更できます。

 「最新情報」パーツ：[パーツの設定項目](#)

画面の設定

ユーザー画面に関する設定を説明します。

画面のデザインを変更する

ユーザー画面の背景のデザインを変更します。画面のデザインの初期値は、「青（標準）」です。



- 次の条件に該当する場合、デザインの設定は引き継がれません。必要に応じて再度設定してください。
 - Office 8以前からOffice 10にバージョンアップしている。
 - Office 10では利用できないデザインを適用している状態で、Office 9からOffice 10にバージョンアップしている。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

[個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「カスタマイズ」セクションの  **デザイン** をクリックします。

3. デザインを選択し、プレビュー表示を確認します。

プレビュー表示の状態では、まだデザインは反映されていません。



プレビューで確認したデザインを適用する場合は、[変更する]をクリックします。

選択したデザインのプレビューは、「デザインの設定」画面のみに適用され確認できます。

4. デザインを適用する場合は、 **変更する** をクリックします。

アプリケーションメニューをカスタマイズする

画面上部に表示されている各アプリケーションへのリンクメニュー全体のことをアプリケーションメニューと呼びます。

リンクをクリックすると、各アプリケーションの画面に遷移します。

システム管理者によって初期メニューが設定されています。ユーザーは、初期メニューに上書きする形で、使いやすいアプリケーションメニューにカスタマイズできます。

アプリケーションメニューの構成

アプリケーションメニューは、次のように構成されています。
初期設定では **1** 部分のみ表示されています。



番号	説明	
1	システム管理者が設定するメニュー部分	システム管理者がユーザー画面に表示させたいアプリケーションやWebページへのリンクが表示されます。ユーザーは表示順を変更したり、削除したりできません。このメニューを表示するかどうかは、各ユーザーで設定できます。
2	各ユーザーが設定するメニュー部分	設定したメニューは、メニューをカスタマイズしたユーザー画面のみに表示されます。
3	自分がメンバーに含まれているアプリが表示される部分	データベースIDが小さい順に表示されます。アプリの数が多い場合は、個人設定でメニューに表示するアプリを変更できます。
4	メニューの開閉ボタン	 や  をクリックすると、アプリケーションメニューの表示・非表示を切り替えられます。

メニューを追加する

ユーザーが設定可能な部分（赤枠部分）に、任意のメニューを追加します。



1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **アプリケーションメニュー** をクリックします。
3. 「メニューの追加または変更」セクションで、**追加する** をクリックします。
4. メニューの種類と必要な項目を設定し、**追加する** をクリックします。

■ メニューの種類

アプリケーションメニューに追加できるメニューは、次の3種類です。

● 各アプリケーションへのリンク

ファイル管理やアドレス帳など、サイボウズ Officeのアプリケーションをメニューに追加する場合に選択します。
システム管理者によって設定されているメニュー部分に、利用したいアプリケーションが表示されていない場合に使用します。

●各アプリケーションへのリンク

アプリケーション*

タイトル*

メニューに表示されるアプリケーション名を変更する場合は、タイトルを手動で変更してください。
例：スケジュール→予定

● カスタムアプリ

カスタムアプリで作成されているアプリをメニューに追加する場合に選択します。

● カスタムアプリ

アプリケーション* (ルートフォルダ) ▼
見積り依頼受付 ▼

タイトル* [営業部]見積り依頼受付

メニューに表示されるアプリ名を変更する場合は、タイトルを手動で変更してください。

例：予算管理→営業部の予算

● 任意のホームページへのリンク

他社のWebサイトやニュースサイトなど、任意のWebページへのURLをメニューとして追加する場合に選択します。

● 任意のホームページへのリンク

タイトル* サイボウズ

URL* http://

アイコン* ☒ デフォルト画像
☐ URL指定
☐ ファイル指定

参照...

(ファイル形式がgif, png, jpeg (CMYK形式を除く) のみ有効)

アイコンは次の中から設定します。

■ デフォルト画像

が表示されます。

■ URL指定

Web上にあるアイコンを使用する場合に選択します。入力欄にアイコンを指定するURLを入力します。

■ ファイル指定

ユーザーのクライアントパソコンに保存しているファイルを使用する場合に選択します。

アイコンに使用できるファイルの形式は、gif、png、またはjpeg（CMYK形式を除く）です。

ファイル指定の場合、表示のたびにファイルを読み込むため、製品の動作が重くなる場合があります。

メニューの表示順を変更する

ユーザーが設定したメニューの表示順を変更します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

 [個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「カスタマイズ」セクションの [アプリケーションメニュー](#) をクリックします。

3. 「メニューの追加または変更」セクションで、 [順番変更する](#) をクリックします。



- システム管理者が設定しているメニュー部分は、ユーザーでメニューの変更や削除はできません。
システム管理者が操作する必要があります。システム管理者が設定しているメニュー部分へのリクエストがある場合は、システム管理者に相談してください。

メニューを変更する

ユーザーが追加したメニューを変更します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

 [個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「カスタマイズ」セクションの  **アプリケーションメニュー** をクリックします。
3. 「メニューの追加または変更」セクションで、変更するメニューの  **変更する** をクリックします。
4. 表示する対象とタイトルを設定し、 **変更する** をクリックします。

メニューを削除する

ユーザーが追加したメニュー削除します。削除したメニューは元に戻せません。

1つずつ削除する

一覧から、ユーザーが追加したメニューを1つずつ削除します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **アプリケーションメニュー** をクリックします。
3. 「メニューの追加または変更」セクションで、削除するメニューの  **削除する** をクリックします。
4. 確認画面で、 **削除する** をクリックします。

全メニューを削除する

自分が追加したすべてのメニューをまとめて削除します。
システム管理者が設定したメニュー部分は削除されません。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **アプリケーションメニュー** をクリックします。
3. 「メニューの削除」セクションで、 **すべてのアプリケーションメニューを削除する** をクリックします。
4. 確認画面で、 **すべて削除する** をクリックします。

アプリケーションメニューの見た目を変更する

各ユーザーで、アプリケーションメニューの表示を使いやすいように変更できます。
次のようなユースケースに対応可能です。

- システム管理者によって設定されているメニュー部分を表示させたくない。
- アプリケーションメニューの表示をテキストのみの表示にしたい。
- 使用頻度が低いアプリ(カスタムアプリ)をメニューから外したい。

不要なメニューを非表示にする

システム管理者が設定するメニュー部分には、ユーザーによって不要なメニューが表示されている場合があります。
アプリケーションメニューにユーザー独自のメニューを設定し、システム管理者が設定するメニュー部分を非表示にすると、より使いやすいアプリケーションメニューにすることができます。



1. ユーザー独自のメニューを準備します。

すでにメニューがある場合は、手順3に進みます。

[メニューを追加する](#)

2. 必要なメニューが表示できているか確認します。

この時点では、次の状態になります。



3. システム管理者が設定するメニュー部分を非表示にします。

1. 「個人設定」画面で、「詳細設定」タブをクリックします。
2. 「カスタマイズ」セクションの [アプリケーションメニュー](#) をクリックします。
3. 「メニューの表示設定」セクションで、[アプリケーションメニューの表示方法を変更する](#) をクリックします。
4. 「システムで設定されているアプリケーションメニューを表示する」の選択を外し、[変更する](#) をクリックします。
システム管理者が設定するメニューを表示する場合は、手順4の項目を選択します。

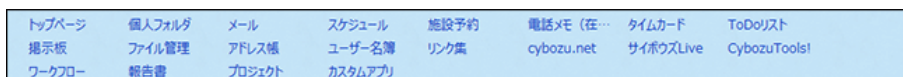
アイコン表示とテキスト表示を切り替える

アプリケーションメニューは、アイコン付き表示とテキスト表示で表示方法を切り替えられます。

● アイコン付き表示



● テキスト表示



1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

[個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「カスタマイズ」セクションの [アプリケーションメニュー](#) をクリックします。

3. 「メニューの表示設定」セクションで、[アプリケーションメニューの表示方法を変更する](#) をクリックします。

4. テキスト表示にする場合は、「アイコンを表示する」から選択を外し、[変更する](#) をクリックします。

アイコンを表示する場合は、「アイコンを表示する」を選択します。

表示するステータス管理アプリを設定する

アプリケーションメニューには、カスタムアプリのアプリが表示されることがあります。

特に、自分がメンバーに含まれるアプリ(ステータス管理アプリ)は、自動的にアプリケーションメニューに表示されるため、ユーザーによっては、作業が完了しているアプリや、メニューに常に表示させなくてもよいアプリが含まれている場合があります。

メニューとして表示するアプリを整理することで、アプリケーションメニューがより使いやすくなります。



作業が完了したアプリなので、
表示させたくない。



- この操作では、ステータス管理アプリを、アプリケーションメニューに表示するかどうかを設定します。
通常アプリをアプリケーションメニューに表示する場合は、ユーザーが設定するメニュー部分に目的のアプリをメニューとして追加します。
[メニューを追加する](#)
- アプリケーションメニューからアプリを非表示にしても、アプリ自体は削除されません。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **アプリケーションメニュー** をクリックします。
3. 「メニューの表示設定」セクションで、**ステータス管理アプリの表示を設定する** をクリックします。
4. メニューに表示するアプリを選択し、**変更する** をクリックします。

こんなときは？

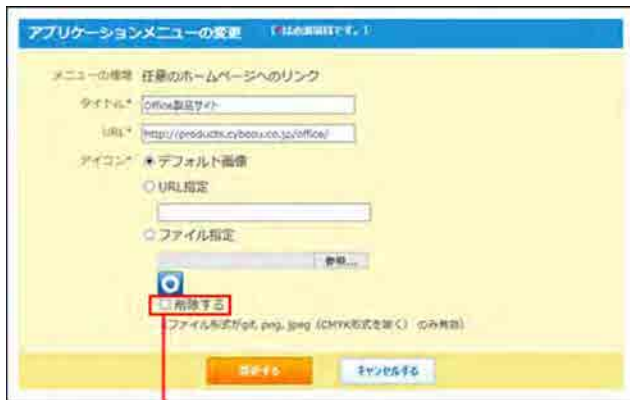
アプリケーションメニューの設定で困ったことを解決するヒントを紹介します。

案内する内容には、システム管理者の操作が必要な場合があります。

■ ファイル指定の情報を残したまま、一時的に他のアイコンに変更したい

メニューの種類が「任意のホームページへのリンク」である場合に操作できます。

メニューの変更画面で、表示されているアイコン下の「削除する」の選択を外して、デフォルト画像、またはURL指定のアイコンを設定すると、ファイル指定のファイル情報を残したまま、アイコンを変更できます。



「削除する」の選択を外します。

■ 追加していたメニューが表示されない

アプリケーションをメニューに追加する場合は、アプリケーションが「使用するアプリケーション」として設定されているかどうかを確認してください。

■ [使用するアプリケーション](#)

始めるメニューを設定する

始めるメニューは、予定の登録や掲示の書き込みなど、よく使うアプリケーションでのスタートアクションをまとめたメニューです。

初期設定では、次のメニューが表示されます。



システム管理者の設定やライセンス状況により表示されない項目もあります。

また、各ユーザーで独自のメニューを追加することも可能です。追加したメニューは、他のユーザーに表示されません。



- ネット連携サービスを利用するには、継続サービスライセンスが必要です。継続サービスライセンスが登録されていない場合は、次のメニューは表示されません。
 - 企業情報を調べる

- 郵便番号から調べる
 - 地図を表示する
 - 路線を調べる

ここでは、ユーザーが始めるメニューに、独自のメニューを設定する操作を説明します。

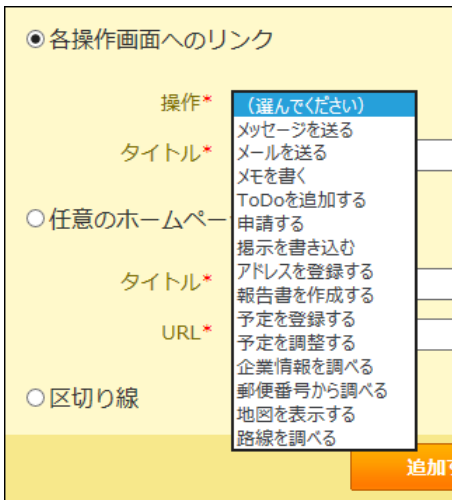
メニューを追加する

始めるメニューに、任意のメニューを追加します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **始めるメニュー** をクリックします。
3. **+ 追加する** をクリックします。
4. メニューの種類を選択し、必要な項目を設定し、 **追加する** をクリックします。



始めるメニューの設定項目

項目	説明
各操作画面へのリンク	サイボウズ Officeのアプリケーションのスタート操作をメニューに追加する場合に選択します。 ● 操作 次の操作を選択できます。  ● タイトル
任意のホームページへのリンク	サイボウズ Officeのアプリケーションではなく、任意のWebページへのリンクをメニューに追加する場合に選択します。 ● タイトル ● URL メニューをクリックした際に表示するWebページのURLを入力します。

区切り線	区切り線始めるメニュー内に、区切り線を追加する場合に選択します。 申請する 区切り線 提示を書き込む
------	---

メニューを変更する

追加したメニューの情報を変更します。メニューの種類自体は変更できません。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **始めるメニュー** をクリックします。
3. 変更するメニューの  **変更する** をクリックします。
4. メニューの種類に応じて、タイトルや URLなどを設定し、**変更する** をクリックします。

メニューを削除する

追加したメニューを削除します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **始めるメニュー** をクリックします。
3. 削除するメニューの  **削除する** をクリックします。
4. 確認画面で、**削除する** をクリックします。

メニューを初期化する

始めるメニューを、導入時の状態に戻します。

不要なメニューを設定している場合やメニューを整理する際に便利です。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **始めるメニュー** をクリックします。
3. **表示項目を初期化する** をクリックします。
4. 確認画面で、**初期化する** をクリックします。

ヘッダーを固定する

ヘッダーをページスクロールに合わせて表示させるかどうかを設定します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **画面表示** をクリックします。

3. ヘッダーを固定するかどうかを選択し、**【変更する】** をクリックします。

全般

ヘッダー ☒ ヘッダーを固定する

メールアドレスのリンク先 ☒ 製品内のメールアプリケーションを使用する
☐ Webブラウザに設定されたメールソフトを使用する

画像ファイル (gif, jpeg など) ☒ 本文と一緒に表示する
☒ 画像を縮小して表示する

エラー画面 ☒ ダイアログで表示する

ファイル添付 ☒ ドラッグアンドドロップでファイルを添付する ?

● ヘッダーを固定する場合：

ページスクロールに合わせて、ヘッダーが表示されます。



● ヘッダーを固定しない場合：

ページをスクロールすると、ヘッダーが表示されなくなります。



メールアドレスをクリックしたときの挙動

メールアドレスのリンクをクリックしたときに起動するメールソフトを設定します。

1: 和田 一夫 (営業部) 2013/9/19(木) 16:25
高橋さん

申し訳ありません。
先ほどのメールアドレスに誤りがありました。
正しくは、下記のアドレスです。
test@cybozu.com

起動するメールソフトを、
サイボウズ Officeの「メール」に
設定している場合の例

メールの送信

メールアドレス: test@cybozu.com

CC:

BCC:

件名:

* テキスト (A) ☐ 書式編集 (A)



- この設定は、サイボウズ Officeで表示されるすべてのメールアドレスのリンクに反映されます。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

[個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「カスタマイズ」セクションの **画面表示** をクリックします。

3. 起動するメールソフトを選択し、**変更する** をクリックします。

全般

ヘッダー ☒ ヘッダーを固定する

メールアドレスのリンク先 ☒ 製品内のメールアプリケーションを使用する
☐ Webブラウザに設定されたメールソフトを使用する

画像ファイル (gif, jpeg など) ☒ 本文と一緒に表示する
☒ 画像を縮小して表示する

エラー画面 ☒ ダイアログで表示する

ファイル添付 ☒ ドラッグアンドドロップでファイルを添付する ?

ファイルの添付方法を設定する

次のファイル添付の操作を許可するかどうかを設定します。

- 複数ファイルの一括添付
- ドラッグアンドドロップでのファイル添付

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

[個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「カスタマイズ」セクションの 画面表示 をクリックします。

3. 一括添付やドラッグアンドドロップでの添付を許可する場合は、「ドラッグアンドドロップでファイルを添付する」を選択し、[変更する](#) をクリックします。

全般

ヘッダー ☒ ヘッダーを固定する

メールアドレスのリンク先 ☒ 製品内のメールアプリケーションを使用する
☐ Webブラウザに設定されたメールソフトを使用する

画像ファイル (gif, jpeg など) ☒ 本文と一緒に表示する
☒ 画像を縮小して表示する

エラー画面 ☒ ダイアログで表示する

ファイル添付 ☒ ドラッグアンドドロップでファイルを添付する ?

■ 「ドラッグアンドドロップでファイルを添付する」を選択する場合

次のファイル添付の操作が可能になります。

- 複数ファイルの一括添付
- ドラッグアンドドロップでのファイル添付

ただし、上記の操作は、利用できるアプリケーションとWebブラウザに制限があります。
 詳細は次のページを参照してください。

[一括添付を利用するには](#)

操作の詳細は、次のページを参照してください。

[複数のファイルを一括添付する](#)

■ 「ドラッグアンドドロップでファイルを添付する」から選択を外している場合

1つずつファイルを添付する操作のみ可能になります。

この操作は、利用できるアプリケーションやWebブラウザに制限はありません。

画像の表示方法を設定する

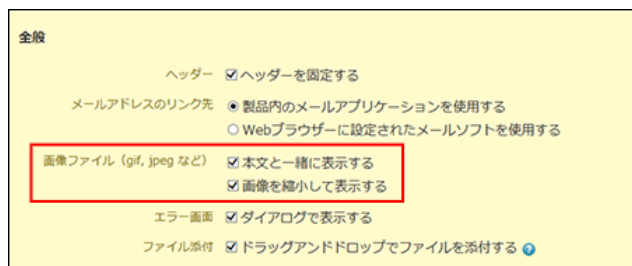
添付された画像ファイルを、どのように表示するかを設定します。



- システム管理者の設定により、画像ファイルを本文と一緒に表示できないことがあります。この場合、「画像表示(gif、jpegなど)の表示」の設定欄自体が表示されません。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **画面表示** をクリックします。
3. 画像の表示方法を選択し、 **変更する** をクリックします。

両方の選択肢を有効にすることも可能です。



全般

ヘッダー ☒ ヘッダーを固定する

メールアドレスのリンク先 ☒ 製品内のメールアプリケーションを使用する
☐ Webブラウザに設定されたメールソフトを使用する

画像ファイル (gif, jpeg など) ☒ 本文と一緒に表示する
☒ 画像を縮小して表示する

エラー画面 ☒ ダイアログで表示する

ファイル添付 ☒ ドラッグアンドドロップでファイルを添付する 

- 本文と一緒に表示する：
画像ファイルと本文を、画面内に一緒に表示する場合に選択します。
- 画像を縮小して表示する：
縦が480ピクセル以上、もしくは横が800ピクセル以上の画像を縮小して表示する場合に選択します。

■ 画像表示について

画面表示(gif、jpegなど)の設定は、次のアプリケーションに適用されます。

アプリケーション	本文と一緒に表示する	画像を縮小して表示する
メール	☐	☐
メモ	☐	☐
メッセージ	☐ ¹	☐
スケジュール	☒ ¹	☒
掲示板	☐ ¹	☐
アドレス帳	☐	☐
ユーザー名簿	☐	☐
報告書	☐ ¹	☐
プロジェクト	☐ ¹	☐

○：適用される、×：適用されない

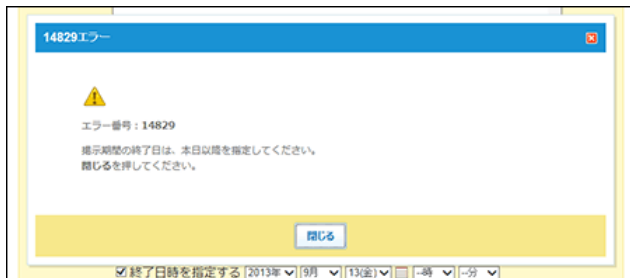
¹：「本文と一緒に表示する」が有効な場合、カスタムアプリの特定のURLを本文またはコメントに入力した際に、指定したアプリをインライン表示できるようになります。操作の詳細は、次のページを確認してください。

[アプリのインライン表示](#)

エラー画面の表示方法を設定する

エラー画面をダイアログで表示するかどうかを選択します。

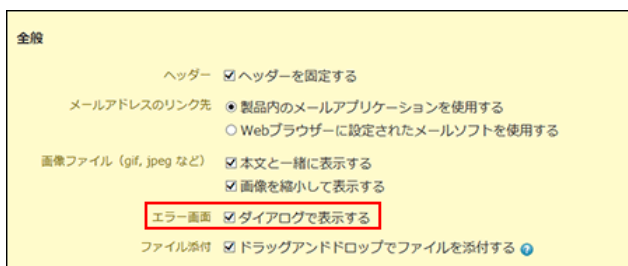
- **ダイアログで表示する場合：**



- ダイアログで表示しない場合：



1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **画面表示** をクリックします。
3. ダイアログで表示する場合は、エラー画面の項目を選択し、 **変更する** をクリックします。



表示欄や入力欄の表示を設定する

製品内の表示欄の入力幅や表示件数、入力欄の縦横幅を変更します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの  **画面表示** をクリックします。
3. 表示欄や入力欄の項目を選択し、 **変更する** をクリックします。

■ 表示件数について

一覧画面に表示する件数を設定します。

表示欄

表示件数

各アプリケーション（一覧）

20

▼

コメント（コメント一覧）

20

▼

表示幅

タイトル

15

▼

本文およびコメント等の抄録

10

▼

差出人欄または受取人欄

10

▼

表示件数の設定は、次のアプリケーションに適用されます。

アプリケーション	設定が適用される対象	
	各アプリケーションの一覧	コメントの一覧
メール	○	×
メモ	○	×
メッセージ	○	○
スケジュール	○	○
掲示板	○	○
アドレス帳	○	×
ワークフロー	○	×
報告書	○	○
プロジェクト	○	○
カスタムアプリ	○	×

○：適用される、×：適用されない



- トップページ「スケジュール（固定）」パーツに表示する予定の件数については、次のページを確認してください。

[「スケジュール\(固定\)」パーツ](#)

■ 表示幅について

一覧画面で表示する幅を文字数で設定します。

表示欄

表示件数

各アプリケーション（一覧）

20 ▼

コメント（コメント一覧）

20 ▼

表示幅

タイトル

15 ▼

本文およびコメント等の抄録

10 ▼

差出人欄または受取人欄

10 ▼

表示幅の設定は、次のアプリケーションや画面に適用されます。

適用される範囲は、アプリケーションによって異なります。詳細は、表内の説明を参照してください。

アプリケーション	タイトル	本文およびコメント等の抄録の表示幅	差出人欄または受取人欄
メール	○	×	○
メモ	○	×	○
メッセージ	○	×	○
掲示板	○	×	○
ファイル管理	○	×	○
ユーザー名簿	○ ユーザー情報の詳細画面の「最近発信した情報」セクションのタイトルに適用されます。	○ ユーザー情報の詳細画面の「最近発信した情報」セクションに表示される、次のアプリケーションの内容に適用されます。 ・メッセージ ・掲示板	×
ワークフロー	○	×	○ 申請者欄に適用されます。

報告書	○	×	○ 作成者、更新者欄に適用され ます。
プロジェクト	○	×	○
製品内検索の結果	○ 次のアプリケーションに適用され ます。 ・メール ・メモ ・メッセージ ・掲示板 ・ファイル管理 ・ユーザー名簿 ・ワークフロー ・報告書 ・プロジェクト	○ 製品内検索の結果一覧に適用され ます。	×
トップページ	○	○	○
既読一覧	○ 最新情報パーツに適用されます。	○ 次のパーツに適用されます。 ・最新情報パーツ ・掲示板パーツ	×

○：適用される、×：適用されない

■ 入力欄について

入力欄の幅を文字数で設定します。本文入力欄のみに適用されます。

入力欄

※ 使用するブラウザにより、多少のズレが発生致します。

本文の入力欄 横幅

縦幅

本文の入力欄の設定は、次の画面に適用されます。

アプリケーション	画面
メール	メールの送信
メモ	メモの書き込み
メッセージ	メッセージの送信 メッセージの変更
掲示板	掲示の作成 掲示の変更
プロジェクト	掲示の作成 掲示の変更



- 掲示板の本文欄やスケジュールのコメント欄などは、入力欄の右に表示される 、または をクリックしても、大きさを変更できます。

個人設定の変更

ユーザー情報の変更やMyグループの設定など、個人設定の操作を説明します。

ユーザー情報を変更する

ユーザー情報は、ユーザー名簿の詳細画面に表示されます。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **ユーザー情報** をクリックします。
3. 必要な項目を設定し、 **変更する** をクリックします。

ユーザーが変更できる項目は、次のとおりです。

- よみ
- プロフィール画像
- E-mail
- 連絡先
- URL
- 最初に表示するグループ



- Office 8以前からバージョンアップすると、バージョンアップ前の画像の設定が無効になります。バージョンアップ後に再度設定してください。
- ユーザー情報は次の手順でも変更できます。
ヘッダーの右側の[ユーザー名] > [編集]の順にクリックします。

パスワードを変更する

サイボウズ Officeにログインするためのパスワードを変更します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **パスワード** をクリックします。
3. 新しいパスワードを確認用とあわせ2回入力し、 **変更する** をクリックします。

パスワードは、大文字と小文字を区別してください。半角64文字まで設定可能です。



- 初期設定でのパスワードは、システム管理者が設定したパスワードです。最初にサイボウズ Officeにログインしたあとに、パスワードを変更します。
- パスワードは定期的に変更することを推奨します。
- システム管理者の設定により、パスワードに最低限の長さや有効期限などの条件が設定されていることがあります。詳細は、システム管理者に確認してください。
- パスワードは次の手順でも変更できます。

- ヘッダーの右側の[ユーザー名] > [パスワードの変更] の順にクリックします。

最初に表示するグループとは？

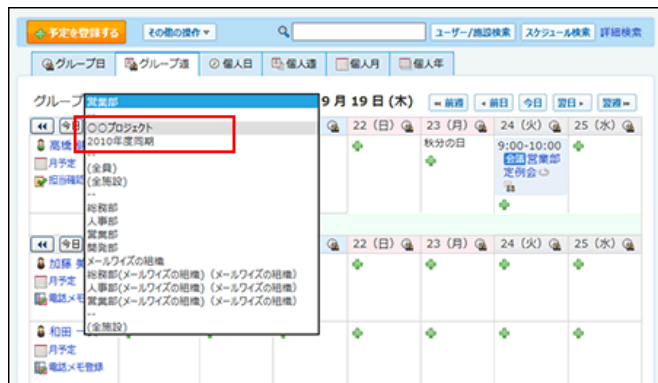
最初に表示するグループは、グループの一覧を表示する際に、設定したグループを優先的に表示する機能です。
よく使う組織や所属組織を設定すると、グループ選択の手間が省けて便利です。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **ユーザー情報** をクリックします。
3. 「最初に表示するグループ」セクションで、組織またはMyグループをドロップダウンリストから選択し、**変更する** をクリックします。

Myグループを設定する

Myグループは、ユーザーが任意に作成するグループです。作成したユーザーだけが利用できます。
所属組織をまたぐメンバーの集まりや、業務上よく選択するユーザーや施設を、グループとして作成すると便利です。
例：

- ○○年入社の同期グループ
- ○○プロジェクトのグループ



Myグループを追加する

Myグループを追加します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **Myグループ** をクリックします。
3. **+追加する** をクリックします。
4. 必要な項目を設定し、**追加する** をクリックします。

■ Myグループの設定項目

項目	説明
グループ名	Myグループの名前を入力します。
所属するユーザー	Myグループに所属する対象を選択します。
所属する施設	ユーザーのみ、施設のみの選択も可能です。
最初に表示するグループ	追加するMyグループを、最初に表示するグループに設定する場合は、項目を選択します。追加済のMyグループの変更画面には表示されません。

Myグループを変更する

Myグループの情報を変更します。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[📄 個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **Myグループ** をクリックします。
3. 変更するグループの  **変更する** をクリックします。
4. グループ名や所属対象を設定し、 **変更する** をクリックします。

Myグループを削除する

Myグループを削除します。削除したMyグループは、元に戻せません。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[📄 個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **Myグループ** をクリックします。
3. 削除するグループの  **削除する** をクリックします。
4. 確認画面で、 **削除する** をクリックします。

メール通知とは？

メール通知は、予定の変更や電話メモがあることをEメールで知らせる機能です。
この機能を利用すると、外出していても、必要な通知を携帯端末などに送信できるため便利です。
ここでは、メール通知を利用する手順を説明します。

対象アプリケーション

メール通知は、次のアプリケーションで利用できます。
いずれのアプリケーションでも、メール通知の利用には、システム管理者側の準備が必要です。

アプリケーション	システム管理者の準備	ユーザーの準備
スケジュール	次の設定が必要です。	個人設定で、通知対象と通知先を設定します。 📄 通知対象と通知先を設定する
電話メモ	● システムメールの設定	
ワークフロー	● アプリケーションを有効にする	

カスタムアプリ	● システムメールを使用する機能の設定 ● メールサーバーの設定 ● ユーザーのメールアカウントの設定	アプリの運用管理者で、通知対象と通知先 を設定します。  カスタムアプリ： 更新通知
---------	---	---

システム管理者側の準備が完了しているかどうかは、次のページで確認します。

 [メール通知の利用可否を確認する](#)

メール通知の利用可否を確認する

メール通知に必要なシステム管理者側の準備が完了しているかどうかを確認します。

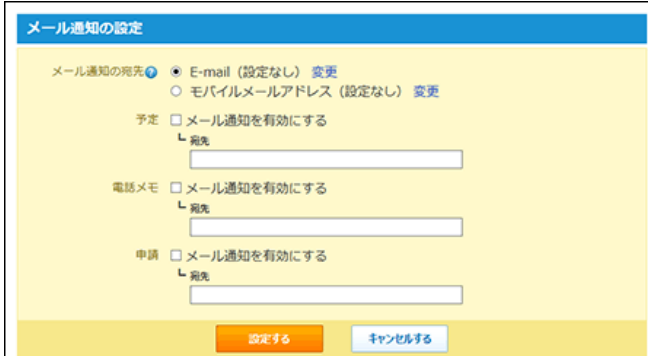
1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
 [個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「個人情報」セクションの  **メール通知** をクリックします。
3. 表示される画面を確認します。

システム管理者側の準備が完了している場合

設定画面が表示されます。この場合、次のページに進みます。

 [通知対象と通知先を設定する](#)

- メールアドレスが設定されていない場合：



メール通知の設定

メール通知の宛先  ☒ E-mail（設定なし） [変更](#)
☐ モバイルメールアドレス（設定なし） [変更](#)

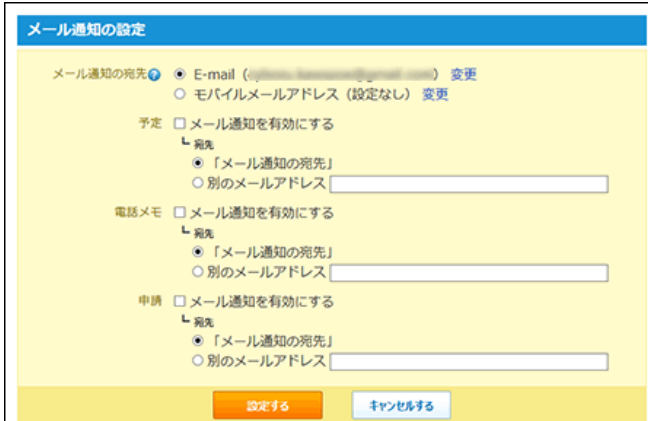
予定 ☐ メール通知を有効にする
宛先

電話メモ ☐ メール通知を有効にする
宛先

申請 ☐ メール通知を有効にする
宛先

[設定する](#) [キャンセルする](#)

- メールアドレスが設定されている場合：



メール通知の設定

メール通知の宛先  ☒ E-mail（） [変更](#)
☐ モバイルメールアドレス（設定なし） [変更](#)

予定 ☐ メール通知を有効にする
宛先 ☒ 「メール通知の宛先」
☐ 別のメールアドレス

電話メモ ☐ メール通知を有効にする
宛先 ☒ 「メール通知の宛先」
☐ 別のメールアドレス

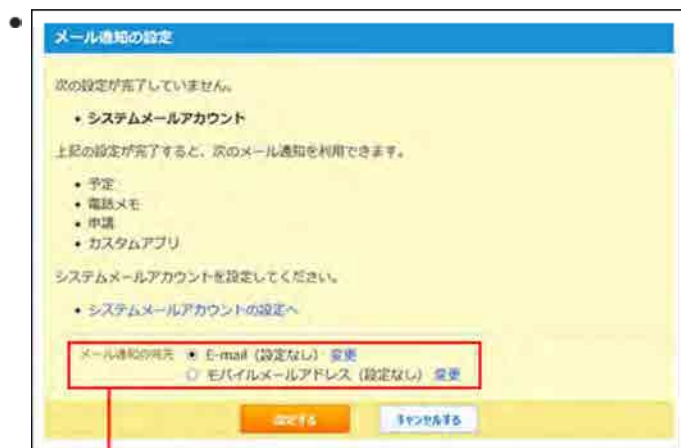
申請 ☐ メール通知を有効にする
宛先 ☒ 「メール通知の宛先」
☐ 別のメールアドレス

[設定する](#) [キャンセルする](#)

システム管理者の準備が完了していない場合

システムメールアカウントの設定を促す画面が表示され、詳細を設定できません。

- システム管理者側に必要な設定をしていない場合：



システムメールアカウントの設定に依存しない項目のみ表示されます。

- メールサーバーと個人メールアカウントを設定している場合：



個人メールアカウントが設定されていれば、
電話メモのみメール通知を設定できます。

■ メール通知の宛先を設定できない場合の対処

メール通知は、更新情報をE-mailで知らせるため、メール機能の設定が必要です。
メール通知を利用する場合は、システム管理者に次の設定を依頼してください。

- システムメールアカウントの設定
- メールサーバーの設定
- 個人メールアカウントの設定



- 電話メモのメール通知の設定項目は、個人メールアカウントが設定されていれば、システムメールアカウントの設定が未完了でも表示されます。

通知対象と通知先を設定する

指定するメールアドレスに、どのデータの通知を送信するかを設定します。
ここでは、予定、電話メモ、申請のメール通知を設定できます。

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。

[個人設定画面にアクセスする](#)

2. 「個人情報」セクションの メール通知 をクリックします。

システム管理者側の準備が完了している状態の画面が表示されることを確認します。

3. メール通知の宛先の初期値を選択します。

- E-mail :
サイボウズ OfficeのメールやOutlookなど、お使いのメールソフトのメールアドレスを、通知先に設定する場合に選択します。
- モバイルメールアドレス :
お使いの端末のメールアドレスを通知先に設定する場合に選択します。
外出先で通知を確認するには、この項目を選択してください。



メール通知の宛先  ● E-mail () 変更
○ モバイルメールアドレス (test-cybozu@mobile.com) 変更

設定したメールアドレスが表示されます。

設定画面が表示されます。

ユーザー情報 (モバイル) の変更

● 属員 健太 さんのモバイル用のユーザー情報を入力してください。

モバイルメールアドレス
モバイルで設定した連絡先送付先に対応します。

メールアドレス test-cybozu@mobile.com

メールアドレス (確認用) test-cybozu@mobile.com

ターキー

ターキーログイン名 test-cybozu

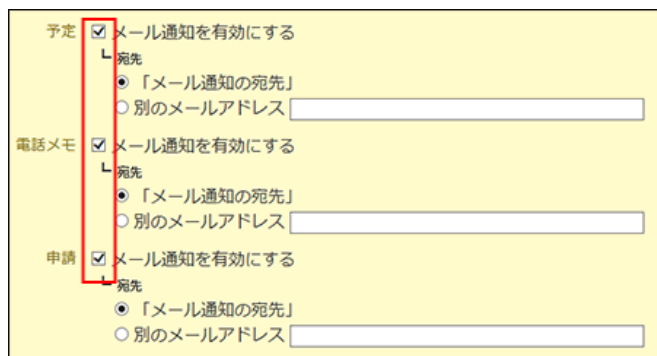
ターキーパスワード *****

ターキーパスワード (確認用) *****

利用の一時停止 ☐ ターキーの利用を一時的に停止する

変更 戻る

4. どのデータのメール通知を有効にするかを選択します。



予定 ☒ メール通知を有効にする

宛先

● 「メール通知の宛先」

○ 別のメールアドレス

電話メモ ☒ メール通知を有効にする

宛先

● 「メール通知の宛先」

○ 別のメールアドレス

申請 ☒ メール通知を有効にする

宛先

● 「メール通知の宛先」

○ 別のメールアドレス

- メール通知のタイミング

データ	通知のタイミング
予定	ユーザー自身が参加者に設定された予定が登録または変更されると、通知が送信されます。 ただし、次の予定の通知は送信されません。 ■ ユーザー自身が参加していない予定 ■ ユーザー自身が登録、変更、または削除した予定
電話メモ	ユーザー自身への電話メモが登録されると、通知が送信されます。
申請	申請を処理する順番がユーザー自身の場合、通知が送信されます。

5. 通知先に手順3と別の宛先を設定する場合は、各データで宛先を入力します。

例：宛先の初期値に「モバイルメールアドレス」を設定している場合

- ユースケース：
 - 外出が多いため、端末で通知をタイムリーに確認したい。
 - しかし、申請データは重要な情報や添付ファイルが含まれることがあるため、端末ではなく、外出時に持ち歩くパソコンのメールを通知先に設定したい。

6. 設定内容を確認し、**設定する** をクリックします。

CSVファイル出力時の文字コードの初期値

サイボウズ Officeのデータを書き出す、CSVファイルの文字コードの初期値を設定します。
ここで設定する文字コードが、CSVファイルへの書き出し画面で最初に表示されているため、文字コードを選択する手間が省けます。

設定例：

1. 個人設定画面を表示し、「詳細設定」タブをクリックします。
[個人設定画面にアクセスする](#)
2. 「カスタマイズ」セクションの **CSVファイル** をクリックします。
3. 文字コードを次の中から選択し、**変更する** をクリックします。

- シフトJIS
- UTF-8 (BOMあり)
- UTF-8 (BOMなし)



- Office 9以前の環境では、CSVファイルの文字コードを選択できません。
Office 9以前の環境から書き出された CSVファイルの文字コードは、必ずシフトJISになります。